

# 「准組合員対策への提言」

令和4年12月15日（木）

第27回新世紀JA研究会・全国セミナー

新世紀JA研究会

准組合員対策推進・運営委員会

JA東京みなみ 常務理事 志村孝光

## 1. 取り纏めの経緯等

## 2. 「提言」の内容

第1 「准組合員対策の考え方」

第2 「推進具体策」

第3 「実践事例」と「論考」

## 3. 実践課題（JA東京みなみの場合）

# 1.経緯

---

## ●2016（平成28年）年10月～新世紀JA研究会「3つの運動展開」

「新総合JAビジョン確立のための危機突破セミナー」

- ①農業振興・農業所得増大の抜本策と准組合員対策の確立・推進
- ②内部統制・JA監査基準の確立 ③中央会の体制整備

## ●2022（令和4）年1月

「第31回課題別セミナー」（准組合員の意思反映）を契機に「准組合員対策推進・運営委員会」を設置

## ●2022（令和4）年4月「今後の准組合員対策への提言」取りまとめ

## ●2022（令和4）年5月 国会議員・全中他全国連・農水省他へ要請活動

## ●2022（令和4）年7月「准組合員対策をどうする 新世紀JA研究会の提言を 読み解く 准子と太郎の一問一答」 発刊

= 准組合員対策推進・運営委員会構成 =

- JA秋田しんせい 代表理事専務 佐藤 茂良氏
- JA東京中央 代表理事専務 福田 武雄氏
- JA福岡市 代表理事専務 宗 欣孝氏
- 新世紀JA研究会 東京農業大学名誉教授 白石 正彦氏
- 新世紀JA研究会 協同組合懇話会顧問 中原 純一氏
- 新世紀JA研究会 常任幹事 福間 莞爾氏
- 新世紀JA研究会 常任幹事 濱田 達海氏
- 小樽商科大学教授 多木誠一郎氏 (アドバイザー)
- JA東京みなみ 常務理事 志村 孝光

## 2. 提言の内容 ～提言の理由～

---

### ◇准組合員問題はJAのアキレス腱

- ・改正農協法5年後見直し規定 = 一律的事業利用規制の回避
- ・規制改革実施計画（2021.6） = 准組合員の意思反映について PDCAを政府が指導・監督。
- ・監督指針「早期警戒制度」へ反映

### ◇「事業利用規制」から「意思反映」へ新たな段階に・・・

- ・現実的に事業利用（主に信用共済）を目的とした「准組合員」の意思反映を取り入れる = 准組合員制度批判の再燃の可能性がある。

### ◇農業振興を旨とする抜本的な准組合員対策が必要

- ・准組合員の農業振興貢献への意思の掘り起こし
- ・正准組合員が一体となって農業振興に取り組む新たな経営理念・事業戦略が必要

# ～提言第1・2 准組合員対策の考え方と具体策①～

## Step 1

准組合員対策への意識改革と新たな地域農業振興計画の策定・実戦

抜本的な准組合員対策の重要性への意識改革

JA・JAグループ全体の意識改革

農業振興＝農業者のみに依存・期待する計画から脱却（新地域農業振興計画の策定：地元行政・消費者団体等との協議に基づいて）

## Step 2

新たなJA理念の構築と実践

農業の基本的価値に関する理解促進運動の展開

農業の基本的価値を①食料の安定・安全供給②自然・社会環境の保全と定義した上で、新たなJAの経営理念の見直し・検討「農業振興を通じた豊かな地域社会の建設」など

准組合員の農業振興への貢献内容の検討と確認。貢献内容の洗出し

## Step 3

准組合員の定義

「准組合員は農業振興の貢献者」という定義の確認（組合員組織・理事会・総会等での確認）

# 具体策②

## Step 4

### 准組合員の意思反映

監督指針への対応

准組合員の意思 = 農業振興貢献への意思反映

事業利用について方針 = 農業振興貢献のための加入・事業利用の促進

意思反映の方法

准組合員理事の登用・総代等の選出組織・懇談会等への参加・アンケートモニター等

加入時の農業振興貢献への誓約書の徴取

## Step 5

### 准組合員の組織化 (意志ある准組合員の掘り起こし・結集)

既存組合員組織の再点検・准組合員組織の構築

拠点JAの設定と推進

JA・県・全国段階での推進方策の策定と推進

取組事例の収集・提示

県・全国段階での准組合員連絡協議会の設置

### 3. 実践事例と論考～

#### JA秋田 しんせい

住宅ローン伸長に伴う准組合員数の増加「正組合員<准組合員」が予見される中、准組合員との結びつき強化、正組合員と准組合員の組合員力を結集した農業振興策として、年4回季節の美味しい福袋お届け便をお届けした後、准組合員加入を積極的に進め、全国各地に食べて応援の准組合員を広げている。また、農家の担い手不足、働き手不足を補う職業無料紹介所を運営し手伝って応援の制度も構築している。准組合員総代・准組合員枠の理事定数の設定・アンケート調査・モニター制度等々の取組みを予定している。

#### JA福岡市

自らを、「循環型総合事業を展開する福岡市食料農業協同組合」として協力委員会議。支店別組織役員合同会議・准組合員懇親会など様々な准組合員の意思反映を実践する

#### JA東京 みなみ

大消費地を抱える立地を活かし「農産物直売所」を起点として、農業振興への貢献の意思ある准組合員の組織化を計画する



### 3. 実践課題① (JA東京みなみの場合)

#### JA東京みなみの准組合員対策

農業振興クラブ	支店協同推進委員会	准組合員理事
<p>直売所利用を通じて農業振興に貢献する准組合員の組織化。 (年会費：割引) 食べて応援～作って応援へ展開</p>	<p>旧支店運営協力委員を変更。支店毎に5名以上の准組合員を登用。 正准組合員一体となった地域貢献活動（支店行動計画）の企画・実施。</p>	<p>准組合員理事の登用（令和5年6月～）  関連諸規定の変更を前年度議決済（総代会他）</p>
<p>自己改革行程表にて令和5年度より実施。 入会を動機づける<b>魅力ある東京農産物直売所のブランド化</b></p>	<p>ホームページにて広く募集→応募者ゼロ</p>	<p>本来准組合員組織からの登用が望ましが今期組合長推薦にて<b>1名登用予定</b>（同時に定数削減5名）</p>

## 実践課題②（JA東京みなみの場合）

都市部・都市近郊の大消費地において准組合員  
がJAや農業の貢献者になりえるのか？

ワクワクする農産物直売  
所か？（期待を満たして  
いるか）

説明力・目利き力の強化（販売プロの登用・人財育成・販売方法）

JA東京G統一のブランド構築(東京野菜)・差別化

JA間連携（都内・他県生産JA）・多様な農産物販売

農業・農地の魅力・重要  
性や食の安全・JAの活動  
について発信は十分か？

食を通じた地域貢献活動の実践（学校給食他）

生産者（正組）と消費者（准組）の接点づくり

J A 地域貢献活動を通じた理解促進

SNSの戦略的活用

農業振興への貢献が実  
感できるか？

ポイントカード等 食べて応援（貢献度）の見える化

作って応援（貢献度）の見える化(JA貸農園事業等)

使って応援（貢献度）の見える化